

目標達成計画

作成日: 平成 26年 3月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 33 | 心身の重度化や看取りへの対応力に職員間で格差があり、夜勤を含めた24時間のケアの標準化を図り、質を高める必要がある。 | 利用者一人一人の認知症の原因疾患や合併症を含めた特性を再把握し、適切なケアにより不安なく心穏やかに暮らせる。また、家族とともに納得のいく最期を迎えられる。 | ①ひもときシートとNPI-NHの活用をさらに進め、一人一人への理解を深め、対応力を高める。 ②訪問看護・歯科衛生士との協働を推進し、多角的情報を得、タイムリーで適切なケアを提供する。 ③家族支援プログラムを推進する。 | 12ヶ月 |
| 2 | 10 | 利用者家族より、関節可動域訓練やアクティビティの充実を希望する声があり、要望に十分応えられていない。 | 利用者の心身機能の低下防止が図れ、生き生きと暮らせる。 | ①レクリエーション担当と生活リハビリテーション担当の再編成を行い、計画・準備・展開をチーム全体で推進する。 ②上記担当者が、必要な知識・スキルが身につけられるよう法人内外の訓練・研修に参加する。 | 12ヶ月 |
| 3 | | | | | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。